



順光寺だより

浄土真宗本願寺派 順光寺 寺報

第2号

伝灯奉告法要について

順光寺住職 籠 博道

この度、宗門（西本願寺）では宗祖・親鸞聖人から数えて第25代専如様が新しくご門主に就任されました。これを機に、時代の変化に対応し社会に開かれた教団としての力を発揮していくため、新たな宗門総合振興計画が決められ3つの基本方針が示されました。

- ① 仏教、特に浄土真宗にご縁のない方に働きかけ仏教の精神や考え方を広め、その価値観に基づく社会の実現をめざします。
- ② 仏教や浄土真宗にご縁のできた人々にお念仏が響き聞こえる日常生活をつくり、その輪を社会全体に広げていこうとすること。
- ③ ①②を実践していくための支えと成る組織の充実を図ることです。

この3つの宗門総合振興計画を推進するための経費の中心は全国一般寺院の懇志です。

又、平成29年3月には本山伝統奉告法要に松江組寺院が合同で参拝することとなりました。順光寺から6名が参拝されます。順光寺年間行事として元旦には

修正会、春には永代経法座、夏には門信徒の集い、盆前大掃除、秋には報恩講法座、研修旅行、冬には合同忘年会とありますが参加される方々に年々高齢化が進み、新しい世代の方にバトンタッチしていくことが重要な課題となっています。

この度の伝統奉告法要を機に、順光寺門信徒の皆様様の積極的なご協力とご参加を心からお願いいたします。

寺報第2号発行にあたって

順光寺総代会会長 福井幸隆

寺報「順光寺だより」もおかげさまで、第2号を発行する運びとなりました。

寺報の発行は、寺からの情報を発信するだけでなく、門信徒の皆様様の活動を発信していただき、相互の交流を深める狙いもあります。これからも、皆様からの情報をお寄せいただきますようお願いいたします。

平成28年は、以前からご要望のあった、本堂の手摺りと本堂周りの照明の設置工事を行いました。ご尽力いただいた皆様はこの場を借りてお礼申しあげます。

2016 (平成28) 年 順光寺事業報告

本堂の入口（向拝）^{ご はい} に手摺りが付きました。



2016年9月、順光寺の向拝（本堂の正面入口の軒下付近）に手摺りを設置しました。本堂にお参りの際、ご利用ください。

手摺りの設置については、以前からご要望があったものです。特にご高齢の方はこの段差は大変だったようです。

本堂の中が明るくなりました。

本堂外陣に照明を追加。外陣の中心部分がより明るくなりました。お経本の文字もより読みやすくなっていると思います。



夜の駐車場も明るくなりました。

本堂周辺と駐車場に照明を設置しました。お寺の会合が夜に開かれたときなど、駐車場への道がわかりやすくなりました。



お寺の設備について、ご門徒の皆さんからいろいろとご意見をいただいています。できることから少しずつ改善し、お参りしやすい環境を作っていきたいと思っています。

各団体の活動

仏教婦人会

松江組仏教婦人会連盟大会

期日：2016 (平成28) 年6月26日 (日)

会場：蓮教寺 (安来市広瀬町)

順光寺からは7名が参加。

爽やかな風が吹く中、境内ではバザーもあり賑わいました。

記念講演のご講師は、大田市・大雄寺の毛利寿恵子師。とても分かりやすいお話しでした。



第60回中四国地区仏教婦人会大会

期日：2016 (平成28) 年8月24日 (水)

会場：コンベックス岡山 (備後教区主催)

順光寺からは、婦人会の春日会長と若坊守が参加しました。

仏教壮年会

出雲ブロック仏教壮年会研修会

期日：2016 (平成28) 年10月16日 (日)

会場：ラピタウェディングパレス (出雲市)

順光寺からは、壮年会の松井会長が参加しました。

順光寺の行事案内

春彼岸・永代経法座

2017 (平成29) 年3月20日 (月・祝)

午前10時～

永代経法座は、亡き人をご縁とし、お寺にお参りし、故人を追慕し、報恩の営みをするとともに、自分自身が聞法のご縁をいただくものです。

毎年、春のお彼岸の中日にお勤めしています。ぜひお参りください。

2016 (平成28) 年 順光寺行事報告



門信徒の皆様のご協力をいただき、
順光寺では2016 (平成28) 年も様々な行事を行いました。
写真で振り返る、順光寺の1年です。

修正会 1月1日

「修正会 (しゅしょうえ)」は、年の初めに御仏前にお参りし、心を新たにする法要です。

朝7時から本堂で正信偈のお勤めの後、客間にて副住職の点てるお抹茶でおもてなしました。



春彼岸・永代経法要 3月20日

亡き人をご縁とし、故人を追慕し、報恩の営みをするとともに、聞法のご縁をいただく法要です。

正信偈のお勤めの後、副住職の法話。
その後、若坊守が絵本の朗読を行いました。



お花見会 4月15日

順光寺の総代会・壮年会・婦人会有志による毎年恒例のお花見会。

今年は、出雲市須佐町にある須佐温泉・ゆかり館に行きました。



宗祖降誕会法要 5月8日

市内本願寺派寺院合同の「降誕会法要」^{ごうたんえ}。2016年は順光寺が当番寺院でした。

ご講師の北島清秀師(出雲市大社町・乗光寺ご住職)から、降誕会の意味を丁寧にお聞かせいただき、とともに親鸞聖人のご誕生を喜ばせていただきました。



門信徒の集い 7月23日

順光寺の活動や運営について、門信徒の皆さまと意見交換を行う年に1度の会合です。

住職から仏事についての法話、副住職より焼香作法の説明、総代会会長より向拝工事の報告を行いました。

皆さまよりご意見をいただく貴重な場となりました。

盆前清掃 8月6日

毎年8月の第1土曜日に開催。境内の草取り、仏具磨き、本堂の清掃を行います。

今年は中学生と高校生の参加もありました。若い世代がお参りしてくれるのは嬉しいことでした。

清掃の後、婦人会の皆さまの手作り朝ご飯を全員で一緒にいただきました。



報恩講 10月29日

「報恩講」は、本願寺第3代覚如上人が親鸞聖人の33回忌に「報恩講私記」を著されたことに由来しており、浄土真宗の寺院において年間を通して最も大切な行事です。

今年のご講師は、市内奥谷町にある真光寺の吉田 剛 師。寺同士が近所ということもあり、真光寺のご門徒にも多数お参りいただきました。

本山「伝灯奉告法要」レポート

伝灯奉告法要とは

平成28年10月1日から本山・西本願寺で伝灯奉告法要が始まりました。

平成26年6月6日に本山で「法灯継承式」が執り行われ、浄土真宗本願寺派のご門主が、第25代専如門主に代替わりさ



伝灯奉告法要スローガン・ロゴマーク



法要の様子

ていただく、宗門にとって大切なご法要です。平成28年秋から平成29年春にかけて1日1座、80日間勤められます。

本山の御影堂と阿弥陀堂に席が割り振られ、全国から1日におよそ2,000人のご参拝があります。

順光寺が所属する松江組は、平成29年3月9日に団体参拝を行います。



満堂の御影堂

伝灯奉告法要 記念輪袈裟

本山で大きな法要がお勤まりになると、記念のお袈裟が作られます。伝灯奉告法要では、古代紫色のお袈裟が作られました。

副住職就任のお祝いにご寄付いただきました。「副住職就任記念」の刺繍入りです。皆さまの思いを受け止め、大切に使用させていただきます。



伝灯奉告法要 記念輪袈裟

ご門徒さんの作品

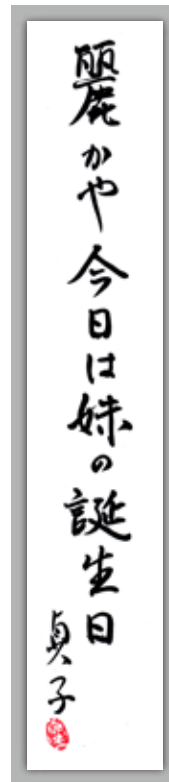
揮毫 細田青秀さん



ご門徒の細田青秀さんに、「順光寺」の文字を揮毫いただきました。順光寺のサイトや寺報などで使わせていただきます。

細田さんは、市内各地で書道教室を開かれたり、書道展を主催されるなど、書道家として幅広く活動されています。

俳句 行時貞子さん



麗かや 今日妹の 誕生日

順光寺仏教婦人会でもご活躍されている行時貞子さんの作品です。

地元の公民館で俳句を詠んでおられます。

妹さんは11月末が誕生日。「麗かや」には、柔らかな感じと、妹さんを思う気持ちが込められています。

編集後記

皆様のお力添えにより、順光寺だより第2号をお届けできました事をうれしく思います。

私事ですが、7月に30年来懇意にしていた方が85歳で亡くなりました。お別れの言葉を述べようとした時、「あら、たくさんのお花!!うれしいわ」の声がかすかに聞こえました。人に対して分け隔てなく、興味・関心、好奇

心は衰えず、常に前向きな方でした。出会えたこと、共に活動できたこと、折り折りの姿から授かったもの全てに感謝し、お別れしました。

順光寺だよりが、皆様にとって日々の生活の綴りの一部になりますことを願っております。今後共、御協力いただきます様よろしくお願い申し上げます。

寺報編集委員会委員 田中洋子

浄土真宗本願寺派順光寺寺報
順光寺だより 第2号

2016(平成28)年12月31日発行

編集 順光寺寺報編集委員会

発行 浄土真宗本願寺派

豊饒山 順光寺

印刷 株式会社谷口印刷



浄土真宗
本願寺派



揮毫: 細田青秀氏(順光寺ご門徒)

〒690-0881 松江市石橋町 44

TEL・FAX **(0852) 23-3718**

E-mail info@junkouji.net

公式サイト <http://junkouji.net>

[junkouji.matsue](https://www.facebook.com/junkouji.matsue)

[@junkouji](https://twitter.com/junkouji)

[junkouji_matsue](https://www.instagram.com/junkouji_matsue)

順光寺

検索



「西本願寺 花灯明」 2016年10月2日撮影
Photo by Nagatani Jungo

伝灯奉告法要の「光」

順光寺副住職 籠 純吾

平成28年秋から本山・西本願寺でお勤まりになっている「伝灯奉告法要」の協賛行事のひとつ、本山のライトアップ「西本願寺 花灯明」。10月初旬の期間限定で行われました。本山のライトアップは初めての試みです。

国宝に指定されている両堂（御影堂・阿弥陀堂）を青・黄・赤・白の4色のライトで照らし、阿弥陀經に書かれたお浄土の世界を表現したものです。

しょうしきしょうこう おうしきおうこう しゃくしきしゃっこう びやく
青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白
しきびやっこう
色白光 （仏説阿弥陀經）

青い花は青い光、黄色い花は黄色い光、赤い花は赤い光、白い花は白い光…お浄土に咲く蓮の花は、それぞれの持つ花の色そのままに光り輝いています。

阿弥陀如来さまの慈悲の光は「そのまま」の私を照らす光です。

欲望・怒り・嫉妬に悩み苦しんでいる私の姿を、親鸞聖人は「凡夫」と表わされました。仏法を聴聞させていただくことは、阿弥陀さまの光に会い、私自身の本当の姿に気づかせていただく大切なご縁です。

阿弥陀さまのお慈悲に包まれ、お念仏申す暮らしの中で、私は私のままで、自分の花を咲かせ、自分の色でいのちを輝かせて生きることが、何より尊いことなのです。